

一宮市自立支援ワーキング

～もう一度「元のふつうの暮らし」を取り戻す～

☆個別ケースの課題分析等を行い、地域課題の把握をしていきます

一宮市では、令和2年度から、自立支援ワーキングを開催しています。一宮市の地域ケア会議の1つとして位置づけられます。

ケアプランチェックではなく、よくある事例を取り扱うことにより

- ① ケースの支援内容を検討し、他のケースの支援にも活用すること
- ② ケースの課題分析等を行うことにより、地域課題の把握を行うことを目的としています。

ワーキングは、多職種（理学療法士、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、社会福祉協議会、ケアマネジャー、包括、高年福祉課ら）の参加となります。

☆令和5年度の開催予定

回	日時	会場	担当包括
第1回	7月20日（木）14時	尾西生涯学習センター 講堂	泰玄会
第2回	8月24日（木）14時	西成公民館 大会議室	アウン
第3回	9月21日（木）14時	大和公民館 大会議室	萩の里
第4回	10月19日（木）14時	千秋病院 市民健康教室	ちあき
第5回	11月16日（木）14時	尾西生涯学習センター 6階 大ホール	まちなか
第6回	12月21日（木）14時	木曾川庁舎研修室C	コムネックス
第7回	R6年1月18（木）14時	尾西生涯学習センター 6階 大ホール	高年福祉課
第8回	R6年2月15日（木）14時	尾西生涯学習センター 講堂	やすらぎ

ケアマネジャーさんの身近な場所で開催しています。色々な気づきがあるので、ぜひご参加ください。事例も適宜募集しています。詳しくはエリアの地域包括支援センターまで

☆実際のワーキングの様子

令和4年度は、地域包括支援センターが開催したワーキングが3カ所ありました

ワーキング、グループワークを行いました。

《参加者の意見から》

- ・ケアマネ、多職種の顔の見える関係づくりとなった。
- ・自立支援について、改めて考える機会となった。
- ・多職種の視点を学ぶことができた。
- ・自分の仕事（支援）に活かすことができると思う。
- ・地域について考えるきっかけとなった。
- ・地域資源の共有ができた。

前方でワーキングを行い、参加者はワーキングを見学してもらうという形式です。



☆よくこんなご意見をいただきます。

「せっかく、いろんな専門職が集まるのだから、悩みを解決したい。」

「困難事例がある。検討して欲しい。」

切実な思いだと思います。ケアマネとして、包括として、支援者として、何が出来るのだろうか・・・？本人や家族のために、何とかできないか・・・。



包括・市役所に相談してください！

※自立支援ワーキングは個別事例の解決が目的ではないため、その役割は果たせませんが、相談はしていくこと、例えば個別ケースの検討会として会議を開催していくことも可能です。

ワーキングにつきましては、まだまだ試行錯誤の段階であり、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、『高齢になっても、住みよい町、望む生活が続けられる町づくり』を目指して、自分ごととしてワーキングを作っていきます。